

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間: 2018年10月～2019年9月

発行日 : 2019年10月4日



黒木コンポジット株式会社

目次

1. 環境方針	P.3
2. 事業活動内容	
(1)会社概要	P.4
(2)体制図	P.5
3. 環境経営目標及び実績	
(1)環境経営目標（中期）	P.6
(2)2018年度実績	P.7
4. 環境活動計画及び評価	
(1)環境活動内容と取り組みの評価	P.8~10
(2)実施状況	P.11~14
(3)環境経営計画	P.15~16
5. 環境関連法規への違反, 訴訟等の有無	P.17
6. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.17

1. 環境方針

《基本理念》

黒木コンポジット株式会社は、地球環境改善を重要な課題と位置づけ、HIP処理 電子ビーム溶接 機械加工の事業活動を通じて生産における環境への配慮を行うと共に、環境経営システムを構築・運用することにより、継続的かつ着実に環境保全活動を行い次世代に継承出来る環境の実現を目指します。

《行動指針》

環境経営システムを構築・運用し、環境関連法規等を遵守するとともに環境負荷低減に努めます。以下の行動指針に基づき、環境目標及び活動計画を定め、定期的な見直しを行い、継続性のある活動を展開します。

- ① 二酸化炭素の排出を削減します。
(効率的なエネルギー使用を推進します。)
- ② 廃棄物の削減
(分別を徹底しリサイクル率の向上に努めます。)
- ③ 水使用量の削減
(節水に努め、水使用量を削減します。)
- ④ 使用する化学物質の削減に努めます。
- ⑤ 事業活動に関連する効率アップ及びグリーン購入を推進し環境負荷低減に努めます。
- ⑥ 関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
- ⑦ 全従業員が改善活動の意義を理解し積極的に実践できるように方針を周知します。
- ⑧ この環境方針は広く一般に公表します。

2017年12月1日制定
黒木コンポジット株式会社

代表取締役社長 黒木 亜矢子

2. 事業活動内容

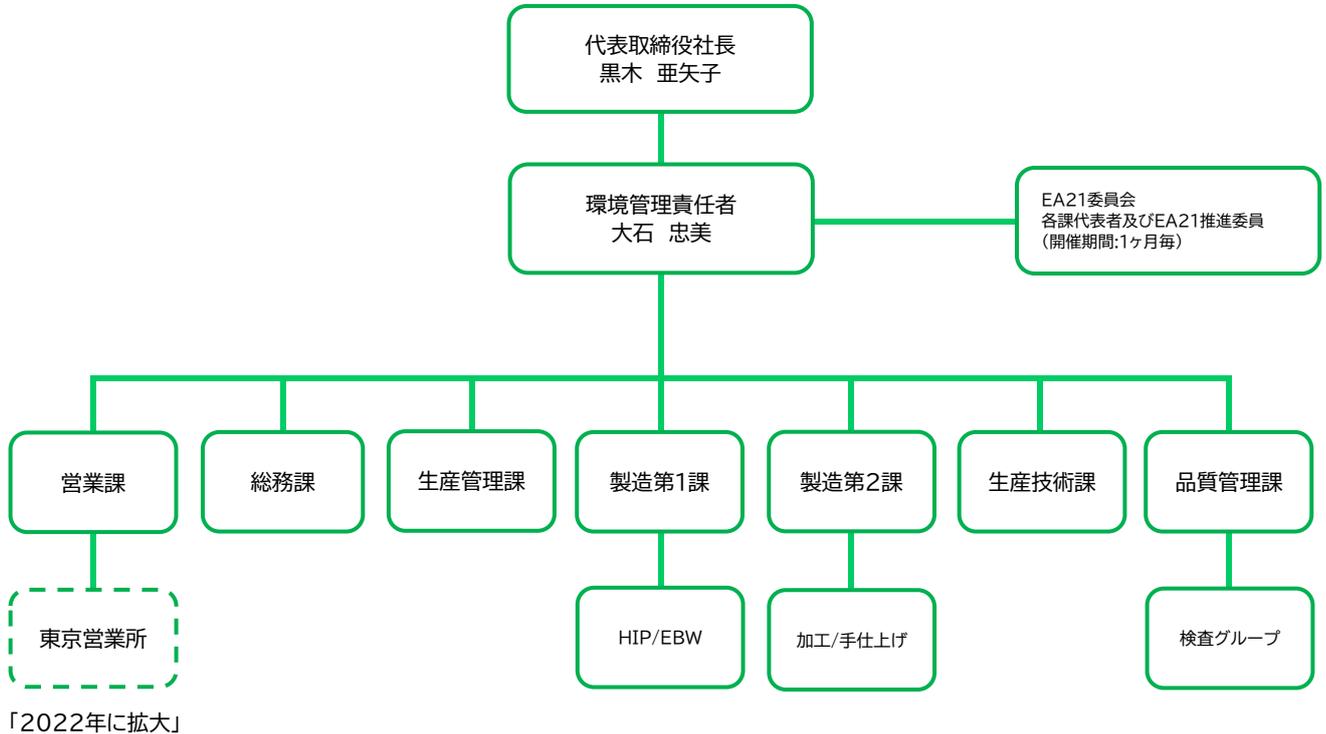
(1) 会社概要

■ 事業所名	黒木コンポジット株式会社
■ 代表者名	黒木 亜矢子
■ 所在地（本社工場）	福岡県鞍手郡鞍手町大字古門字兵丹3109番地の9
■ 法人設立年月日	1986年10月(昭和61年)設立
■ 資本金	4,000万円(2018年3月現在)
■ 環境管理責任者	大石 忠美
■ 連絡担当者	野村 未浦子
■ 連絡先	
○ 本社工場	TEL:0949-42-3301 FAX:0949-42-2390
○ 東京営業所	TEL:03-5713-3774 FAX:03-5713-2777
○ E-mail 本社工場	compo@kuroki.co.jp
■ 事業内容	HIP(熱間等方圧加圧) EBW(電子ビーム溶接) 及び 機械加工を使用した複合金属部品の製造
■ 当社の事業年度	10月1日～翌年9月30日
■ 事業規模	2018年度（33期実績） ・売上高 : 1566 (万円) ・従業員数 : 73 (人) ・床面積 : 3,223 (m ²)
■ 認証登録範囲	『本社・工場及び全事業活動』 東京営業所は2022年に拡大する



2. 事業活動内容

(2)体制図



氏名	所属(役職)	役割・責任・権限
黒木 亜矢子	代表者 (代表取締役社長)	全体の統括、環境方針の設定、 環境への取組を実施する為の全体の評価と準備
大石 忠美	環境管理責任者 (工場長)	組織全体の把握及び、環境経営システムの 構築・運用。それに関する情報の社長への報告
EA21推進委員	EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
黒川 雅夫	総務課	全般
原田 潤一	品質管理課 (課長)	電力、水消費量の管理
窪田 裕之	製造第1課 (課長)	廃棄物の排気量管理、リサイクル率管理
熊井 孝二	製造第2課 (課長)	全般
入江 誼	生産管理課 (課長)	全般
中畠 求	生産技術課 (課長)	地域貢献
高宮 利幸	営業課 (課長)	車燃料(ガソリン、軽油)排出量管理

3. 環境経営目標及び達成状況

(1) 中長期目標（2016年度～2019年度）

目的	環境経営目標	単位※1	2016年度 (第31期)	2017年度 (第32期)		2018年度 (第33期)		2019年度 (第34期)
省エネルギー	二酸化炭素 排出量※3	%	基準年度	1%削減※2		2%削減※2		3%削減※2
		Kg-CO2	1,454,908	目標	1,728,431	目標	1,867,811	1,901,201
			実績	1,511,264	実績	1,417,243		
	自動車 燃費量※4	%	—	—		基準年度		現状維持
Km/L		—	—		13.38		13.38	
資源リサイクル (廃棄物削減)	廃棄物	%	基準年度	1%削減		2%削減		3%削減
		Kg	25,344	目標	30,108	目標	32,536	33,925
			実績	19,529	実績	21,190		
	製品不良率※5	%	基準年度	1%削減		2%削減		3%削減
件		2.90	目標	2.87	目標	2.84	2.81	
		実績	2.51	実績	1.67			
省資源の推進	水使用量	%	基準年度	1%削減		2%削減		3%削減
		m ³	5,082	目標	6,037	目標	6,524	6,803
		実績	5,479	実績	5,243			
環境汚染防止	グリーン購入 の推進	品	—	目標	10	目標	15	45
				実績	53	実績	62	
	化学物質 使用量	%	基準年度	1%削減		2%削減		3%削減
		Kg	2,573	目標	3,057	目標	3,303	3,444
		実績	2,670	実績	2,072			
地域貢献	会社周辺 の清掃	回	—	目標	2回/年	目標	2回/年	2回/年
				実績	2回/年	実績	2回/年	

※1 各年度期間と売上比率による各年度の係数

2016年度(31期):2016年10月～2017年9月末

2017年度(32期):2017年10月～2018年9月末→1.20

2018年度(33期):2018年10月～2019年9月末→1.31

2019年度(34期):2019年10月～2020年9月末→1.38

売上比率による係数:各年度の売上(予測)金額から2016年度の売上金額を割ったもの

各項目の目標値は基準値から各係数と削減率をかけたもの

※2 各年度の目標削減量は、基準年度から1%毎削減

※3 CO2の調整後排出係数（電力:九州電力2016年度実績引用）

〔電力〕0.483(kg-CO2/kWh)

※4 自動車燃費量は今期(33期)を基準とする。

※5 受注件数当たりの不適合発生件数

3. 環境経営目標及び達成状況

(2)2018年度実績(2018年10月～2019年9月)

目的	環境経営目標	単位	2016年度	2018年度(2018年10月～9月)		
			基準年度	目標 (2%削減) ^{※1}	実績	評価 ^{※2}
省エネルギー	二酸化炭素排出量 ^{※3}	Kg-CO2	1,454,908	1,867,811	1,417,243	○
	自動車燃費量 ^{※4}	Km/L	—	—	13.38	—
資源リサイクル (廃棄物の削減)	廃棄物排出量	Kg	25,344	32,536	21,190	○
	製品不良率削減 ^{※5}	件	2.90	2.84	1.67	○
省資源の推進	水使用量	m ³	5,082	6,524	5,243	○
環境汚染防止	グリーン 購入の推進	品	—	15	62	○
	化学物質使用量	Kg	2,573	3,303	2,072	○
地域貢献	会社周辺の清掃	回/年	—	2	2	○

※1 各年度の目標削減量は、基準年度から1%毎削減

※2 削減目標/達成目標の達成状況により表示を変える

100%以上 ○ 80%以上～100%未満 △ 80%未満 ×

※3 CO2の調整後排出係数はP6を参照下さい

※4 自動車燃費量は今期を基準とする為、取組結果は記載しない

※5 受注件数当たりの不適合発生件数

4. 環境活動計画及び評価

(1) 環境活動内容と取組みの評価

1. 二酸化炭素排出量

目標	実績値	達成率	評価
1,867,811 Kg-CO2	1,417,243 Kg-CO2	124%	<p>■ 電力使用量 LED電球への切替や2工場の遮熱塗装により、受注件数の増加にも関わらず、電力使用量が基準年度から2.7%削減出来た。両方の対策が電力使用量の削減に大きく寄与していると考えられる。また、生産性効率対策の検討/実施やこまめな消灯の実施があったからこそ、達成できたと推測される</p> <p>■ ガソリン・軽油の使用量 エコ運転の観点からタイヤ空気圧と燃費の確認を毎月実施。燃費は年間平均で14~15L/kmとなっており、今期の結果を基準とする。</p>
継続の可否			
<p>■ 電力関係 :一部継続</p> <p>■ ガソリン関係:継続</p>			
取組み内容			
<p>■ 電力使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアコン温度を時期に合わせて設定 ・デマンド監視・抑制装置の管理/活用 ・不要な照明の消灯（昼休み・夜勤・残業時） ・生産効率向上対策の検討 ・環境配慮製品の製造量増加 		<p>■ ガソリン/軽油使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイヤの定期点検 ・自動車燃費算出によるエコ運転状況把握 <p>ガソリン:13.24 L/Km 軽油 :13.53 L/Km</p>	

2. 廃棄物総排出量

目標	実績値	達成率	評価
32,536 Kg	21,190 Kg	135%	<p>■ 一般廃棄物 段ボール等を古紙回収業者にて有価引取を実施した事が考えられる。工場内に分別用ゴミ箱を配置した事により、分別の徹底を実施。それにより、リサイクル量増加へ寄与出来た事も要因。結果、生産量増加を加味した目標値に対しては達成率124%とクリアできている。</p> <p>■ 産業廃棄物 オイルスキマーの導入や洗浄性の高い切削液への切替により、切削油交換の頻度が減少し、廃油排出量が削減出来た。それにより、基準年度から19.6%削減出来た。</p>
継続の可否			
継続			
取組み内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・工具再利用の推進 ・廃棄物から有価物への検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・分別の実施 	

3. 製品不良率

目標	実績値	達成率	評価
2.84 件	1.67 件	141%	第33期不適合の発生状況は全ての要因を合せ合計30件。 製造の管理では、第32期に比べて第33期は8件減少と活動の成果を確認。 一方、ヒューマンエラーの発生比率は第32期(29%)に対して 第33期(63%)と上昇している。 その為、来期の課題として取り組む必要性がある。
継続の可否			
継続			
取組み内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・不良発生状況の把握/改善会議の開催 ・不良件数の削減 			

4. 水使用量

目標	実績値	達成率	評価
6,524 m ³	5,243 m ³	120%	2018年10月を除き、目標値を達成。 次年度は新工場新設により、変化する可能性はあるが、引き続き、 節水の啓蒙活動を実施していきたい。
継続の可否			
継続			
取組み内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・節水の励行 			

5. グリーン品購入

目標	実績値	達成率	評価
15 件	62 件	313%	意識的にグリーン品を購入しており、今後も新規品購入の際にはグリーン品の有無を確認することで推進していきたい。 (また、ファイルなどの再利用できるものは積極的に再利用を実施していく)
継続の可否			
継続			
取組み内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入法特定調達品の購入 			

6. 化学物質の使用量

目標	実績値	達成率	評価
3,303 Kg	2,072 Kg	137%	2月に切削油(アルファークール)の使用をやめ、特定化学物質の使用量が大幅に削減できた。 33期目標値合計:3,362kg ⇒ 33期実績合計:2,072kg 目標値と比較し削減量:38% 目標達成!!
継続の可否			
継続			
取組み内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・配置場所の管理 ・使用量の管理 			

7. ボランティア活動

目標	実績値	達成率	評価
2 回/年	2 回/年	100%	2018.11.23 実施済 2019.6.5 実施済 各職場から数名参加してもらい(≒15~20名程度) 多量のゴミを収集出来、地域貢献出来た
継続の可否			
継続			
取組み内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・会社周辺道路の清掃を3班に分け、春・秋の2回実施 			

4. 環境活動計画及び評価

(2) 実施状況

■ エコアクション委員会の実施

毎月、各部署より選出されたエコアクション委員を招集し、

「エコアクション委員会」を実施。

電力使用量、ガソリン使用量などの各データをもとに、

活動の振り返りと今後の活動について、エコアクション委員を中心に協議を実施。

《エコアクション委員会 会議風景》



■ 環境掲示板の設置

活動内容及びエコアクション委員会での会議内容を掲示。

社員全員の目に届く場所に掲示することで、周知徹底を図っています。

《環境掲示板》



■ 防災訓練の実施(緊急事態の想定とその対応策)

環境上の緊急事態(火災)を想定し、

消火器使用時の一連の動作を消火訓練用消火器を用いて実施。

《訓練時の風景》



消火器の使用方法について説明

「訓練用まと」に向けた消火訓練用消火器の実施訓練



■ エアコンの定期清掃及び設定温度の指示

環境に配慮したエアコンの使用を実施。

各エアコンに夏季・冬季での使用時の設定温度を表示。

設定温度を、夏季は26℃、冬季は22℃に設定して使用しています。

毎月エアコンフィルターを清掃することで効率的な冷暖房の使用を心掛けています。

《各エアコンの設置状況》



■ 節電の呼びかけの実施

電力使用量削減を目的として、各署の照明スイッチ付近に節電の呼びかけを掲示。

「身近なところから始めれる」節電活動の啓蒙を図っています。

《節電呼びかけポスターの使用例》



■ ボランティア活動の実施

弊社では、本社工場周辺の地域清掃活動を定期的に行っております。

《地域清掃活動時の風景》



5. 次年度の環境経営計画

(1)2019年度(34期) 環境活動計画

環境活動目標	次年度取組内容	リスクと機会
二酸化炭素 排出量の削減	<p>目標値:1,901,201 Kg-CO2</p> <p>施工件数の増加と電力使用量等は比例する為 目標値は売上と連動する仕組みとなっている。 その為、弊社は活動内容に重視しております。</p> <p>■ 電気使用量削減活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不要な照明の消灯 ・ エアコン温度を時季に応じて設定 ・ 不適合製品の削減 <p>■ ガソリン・軽油使用量削減活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイヤ空気圧の定期点検実施 ・ 自動車燃費 13.38km/L以上に向上 	<p>【リスク】</p> <p>支出増加</p> <p>【機会】</p> <p>CO2削減により社会貢献</p>
水使用量の削減	<p>目標値:6,803 m³</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水の励行 	<p>【リスク】</p> <p>支出増加</p> <p>【機会】</p> <p>生態系を維持</p>
廃棄物排出量の削減	<p>目標値:33,925 Kg</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの分別の徹底 ・ 再資源化の検討 ・ 裏紙の再利用の実施 	<p>【リスク】</p> <p>支出増加 CO2量増加</p> <p>【機会】</p> <p>資源の有効利用 森林再生による 生物多様性の回復</p>
グリーン購入の推進	<p>目標品数:45件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務用品購入時にはグリーン品か否かを確認し購入 	<p>【リスク】</p> <p>—</p> <p>【機会】</p> <p>資源の有効利用 森林再生による 生物多様性の回復</p>

環境活動目標	次年度取組内容	リスクと機会
化学物質使用量の削減	目標値:3,444 Kg ・ 配置場所の管理 ・ 使用量の管理	【リスク】 操業停止 【機会】 生態系を維持
地域貢献	目標:2回/年 引き続き、地域社会の貢献として 会社周辺の清掃を行っていく	【リスク】 — 【機会】 環境への貢献 PR

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1)適用となる主な環境関連法規

エコアクション21で対象となる環境関連法案は違反はありません。

(2)訴訟等

- ・関連機関等からの指摘等⇒無
- ・訴訟⇒無

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

システム立上げ後、最初の1年間を終えました。
計画通りに各活動が遂行されたこと、すべての目標が達成されたことを高く評価します。

一般廃棄物においては、段ボール等を有価引取に変更したことが、廃棄量削減に大きく貢献しました。また、化学物質使用においては、切削油を指定物質を含まない物に変更したことが使用量削減につながりました。このように従来業務の中に削減可能な資源を見出す活動を引き続きお願いします。

また、CO2排出量低減に効果的な自動車運転方法を周知し、社用車への適用はもちろん、従業員一人ひとりにも呼びかけるなど、環境意識向上の機運作りに取り組んで行きましょう。